

会社のサポートと社員のフォローで職場復帰しやすい環境づくり



取締役 原料事業部長
小野 克徳さん

工場では細菌検査を長年担当してきた経験を見込んで、わかめの研究の仕事をお願いしました。小さな変化も見逃さない観察力と細やかさが、研究分野でもいかに発揮されています。

研究室のムードメーカーの最上谷さんは、女性社員が多い当社の良き相談相手として、後輩社員からも慕われています。

食品業界は安全と衛生面でのチェックが特に厳しく、女性ならではの細やかな視点が必要です。そのため、結婚や出産、育児、親の介護などが必要な場合でも負担にならないように、育休・産休、時短勤務などのサポート体制を用意しています。社員同士が「お互い様」の意識を持ってフォローし合う社風も定着してきていて、再び職場に復帰しやすいような環境を整えています。

理研食品株式会社

「ふえるわかめちゃん」「わかめスープ」「わかめご飯」などを提供する食品メーカー。多賀城市内に本社工場を置く。2017年、海藻の研究拠点「ゆりあげファクトリー」を開設。研究開発の視点から海藻産業の活性化や地域の発展への貢献を目指す

本社：東京都千代田区神田三崎町 2-9-18
ゆりあげファクトリー：名取市関上 4-479
TEL 022-395-4226
http://www.rikenfood.co.jp/
従業員数 7人 / 女性 4人
(ゆりあげファクトリー：2018年6月現在)



4年前から研究の仕事に就くまでは、同じ会社の製造工場や衛生検査、事務職などさまざまな業務を経験してきたので、研究部門への異動の話聞いたときも特に不安を感じることはなく、「今度はどうな仕事だろう」とむしろ楽しみに感じました。

熱や学校行事への参加で会社を早退したり休んだりすることもありました。そんな時でも会社や職場のみなさんに柔軟に対応していただき、研究と家庭を両立することができ感謝しています。

休みの日は家事や子どもの習い事の送迎で自分の時間がなかなか取れませんが、娘が通っているダンス教室に付き添い、体を動かしながら気分転換をしています。

研究の仕事は、大学などで専門的な知識を学んでいないとできないと思われがち。でも、未経験者であっても意欲があればチャンスがあると私は思っています。みなさんも社会人になったら、仕事を通してたくさんの方にチャレン

子どもと過ごす時間を大切に。一緒に体を動かして楽しんでいきます！

ジをして、自分の可能性を広げてみてください！



仕事で帰りが遅くなる日が続いたときは、「娘とのストレッチやダンスの時間が、貴重なスキンシップの機会となっています」

おいしい国産わかめを海で安定して獲れるようにすることで漁師さんを元気づけたいです！



みやぎものづくり女子
わかめの「種苗」を作っています

理研食品株式会社
ゆりあげファクトリー（名取市）

もがみやみほ
最上谷美穂さん



顕微鏡をのぞいてわかめの配偶体を慎重に選別。「最初はオスとメスを判別するのがとても大変でした」と話す

質の良い国産わかめを安定して獲れるようにするため、養殖に使われる「種苗」の生産について研究をしています。

わかめの養殖では、種苗と呼ばれる小さな芽をロープにはさみ、それを海に投入して育てています。私は種苗を作るものになる、「配偶体」というステージのわかめを使って、優良な種苗が生まれやすい環境条件を解明する実験をしています。

実験では、海水の温度や光の波長を変えたさまざまな条件下で配偶体

の成長を調べる必要があるため、たくさんの配偶体が必要です。目で確認できないほど小さな配偶体を、顕微鏡をのぞきながら一つ一つ採取する作業は、地道で根気がいります。また、配偶体の成熟度を判断する基準を自分で決めていく作業もとても大変でした。準備に苦労することが多い仕事ですが、成長したわかめから、予想通りの結果や新しい発見が得られたときには、大きな喜びと達成感を得ることができます。

現在、国産わかめを取り巻く環境は、生産量の減少や養殖の担い手である漁師さんの高齢化といった課題を抱えています。

国産わかめを使った食品メーカーである私たちの会社としても、質の良い国産わかめを安定して調達するためには、こうした研究を欠かすことはできません。研究の成果をわかめ養殖の活性化につなげ、地域の漁師さんが元気になってくれたらうれしくも思っています。